



AGC Review

株主の皆さまとのコミュニケーション誌

AGC 旭硝子

証券コード：5201

【株主通信】

Vol.28

2016年3月発行

ご挨拶

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
2015年の売上高は、ディスプレイ事業が減収となったものの、円安などの増収要因でカバーしほぼ前年並みとなりました。また営業利益は、欧州及び北米における建築用ガラス事業の構造改革やコストダウンの効果などにより、前年度に比べて増益となりました。なお、期末配当金については、期初予想どおり1株当たり9円とし、年間配当金は1株当たり18円となります。

このたび、AGCグループの「2025年のありたい姿」を定めるとともに、それを実現するための長期戦略を策定しました。その内容を次ページ以降に紹介しておりますので、ぜひご覧ください。長期持続的な企業価値の向上に向けて、役員・従業員一同、全力を尽くす所存です。

今後ともAGCグループになお一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役兼社長執行役員CEO

島村琢哉

特集

AGCグループ 「2025年の ありたい姿」を策定

～コア事業が確固たる収益基盤となり、戦略事業が
成長エンジンとして一層の収益拡大を牽引する、
高収益のグローバルな優良素材メーカーを目指す～



このたび、AGCグループ
「2025年のありたい姿」とその実現のための
成長戦略を策定しました。
その概要・ねらいについてCEOの島村が
ご説明いたします。

Q 1

今回、AGCグループ
「2025年のありたい姿」を
定めた背景をお聞かせください。

昨年AGCグループは新たな経営体制となりました。AGCグループを取り巻く事業環境が大きく変化
する中、改めてどのような企業になりたいのかをステー
クホルダーの皆さまに示す必要があるとの考えから、
今回「2025年のありたい姿」を定めました。

Q2

どんな企業になりたいのでしょうか？ またどのようにそれを達成するのでしょうか？

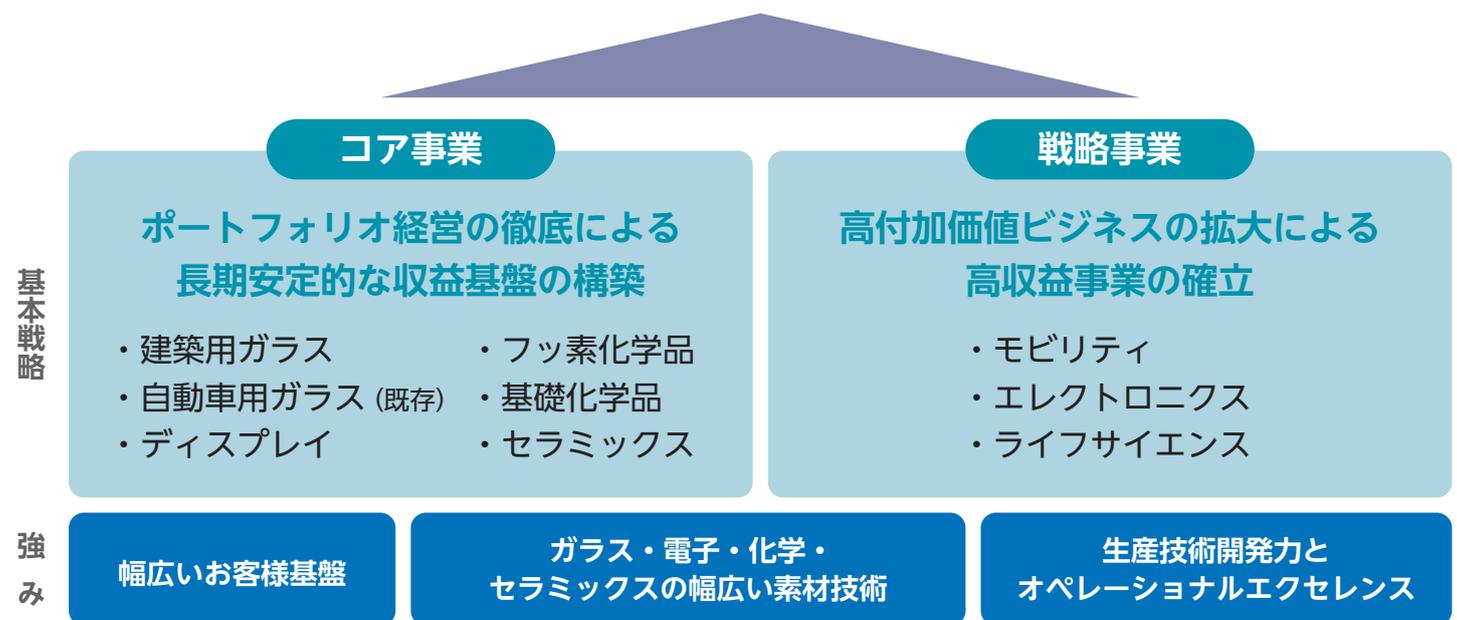
まず、ガラス、化学、ディスプレイ、セラミックスといった長期安定的な収益基盤となるコア事業と、モビリティ、エレクトロニクス、ライフサイエンスをターゲット領域とした高い成長が期待できる戦略事業を2つの柱に位置づけました。

その上で、「コア事業が確固たる収益基盤となり、戦略事業が成長エンジンとして一層の収益拡大を牽引する、高収益のグローバルな優良素材メーカー」になることを目指します。

現在の利益の約80%を生んでいる建築用・自動車用ガラスや化学品、ディスプレイなどのコア事業は、事業ポートフォリオに基づくメリハリある資源配分を徹底し、長期安定的な収益基盤を構築します。

また戦略事業については、自動運転をはじめとする交通インフラの進化、すべてのモノや誰もがいつでもつながるIoTの進展、医療・農業のさらなる高度化などのマクロ環境変化を事業機会ととらえ、高付加価値ビジネスを拡大することで社会に貢献し、そしてAGCグループも大きな成長を遂げていきます。

“高収益のグローバル優良素材メーカー” となる



≫ コア事業の基本戦略

事業	基本戦略
建築用ガラス	・ 成長地域・勝てる地域への選択と集中 ・ ビジネスモデルの革新により、高資産効率事業へ転換
自動車用ガラス	・ エコカー・自動運転化に伴うガラスの高機能化ニーズへの対応 ・ M&Aなどによる更なるグローバル展開
ディスプレイ	・ 液晶用ガラスの需要地シフトに伴う最適生産拠点の構築 ・ 新規ディスプレイ用途への展開
化学品	・ クロールアルカリ事業の東南アジアでの基盤を一層強化 ・ フッ素事業の成長に高機能素材のグローバル需要増を取り込む
セラミックス	・ 素材にエンジニアリングとサービスを組合せた新たな価値提供 ・ 東南アジアでの拠点構築とグローバル販売の拡大

≫ 戦略事業におけるAGCグループのソリューション

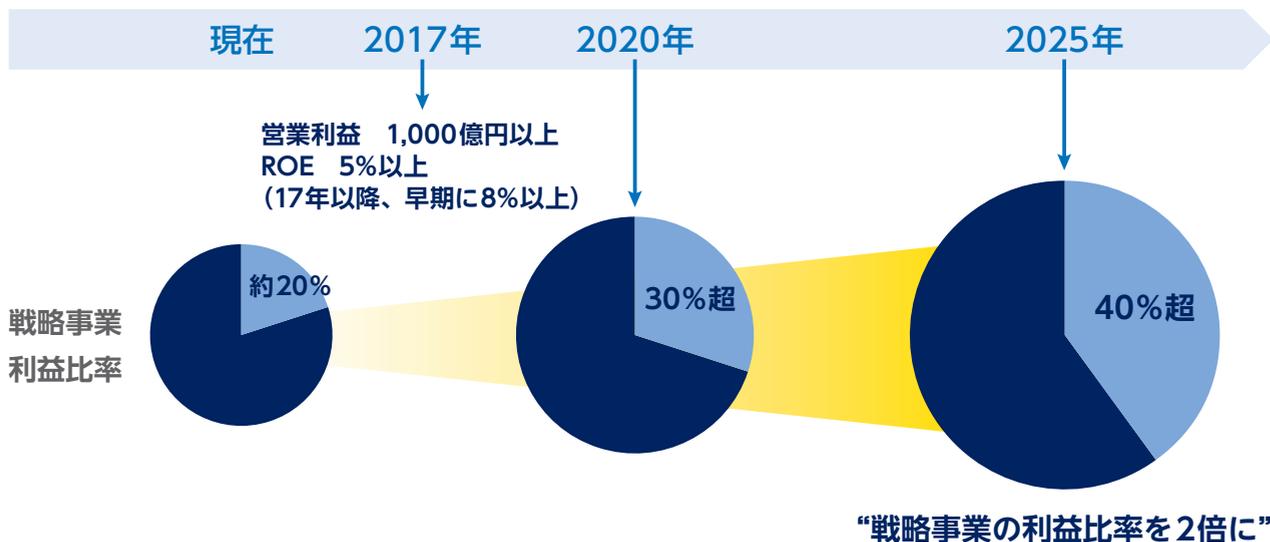


Q3 長期で目標とする経営指標はありますか？

まず現在の中期経営計画で定めた「売上高1兆6,000億円・営業利益1,000億円以上・ROE5%以上」を2017年に達成し、その後できるだけ早い時期にROE8%以上の達成を目指します。

特に大きな成長を期待しているのが戦略事業です。現在、全社利益のうち戦略事業の生み出す利益は約20%ですが、2025年にはこれを40%超まで高めていきます。

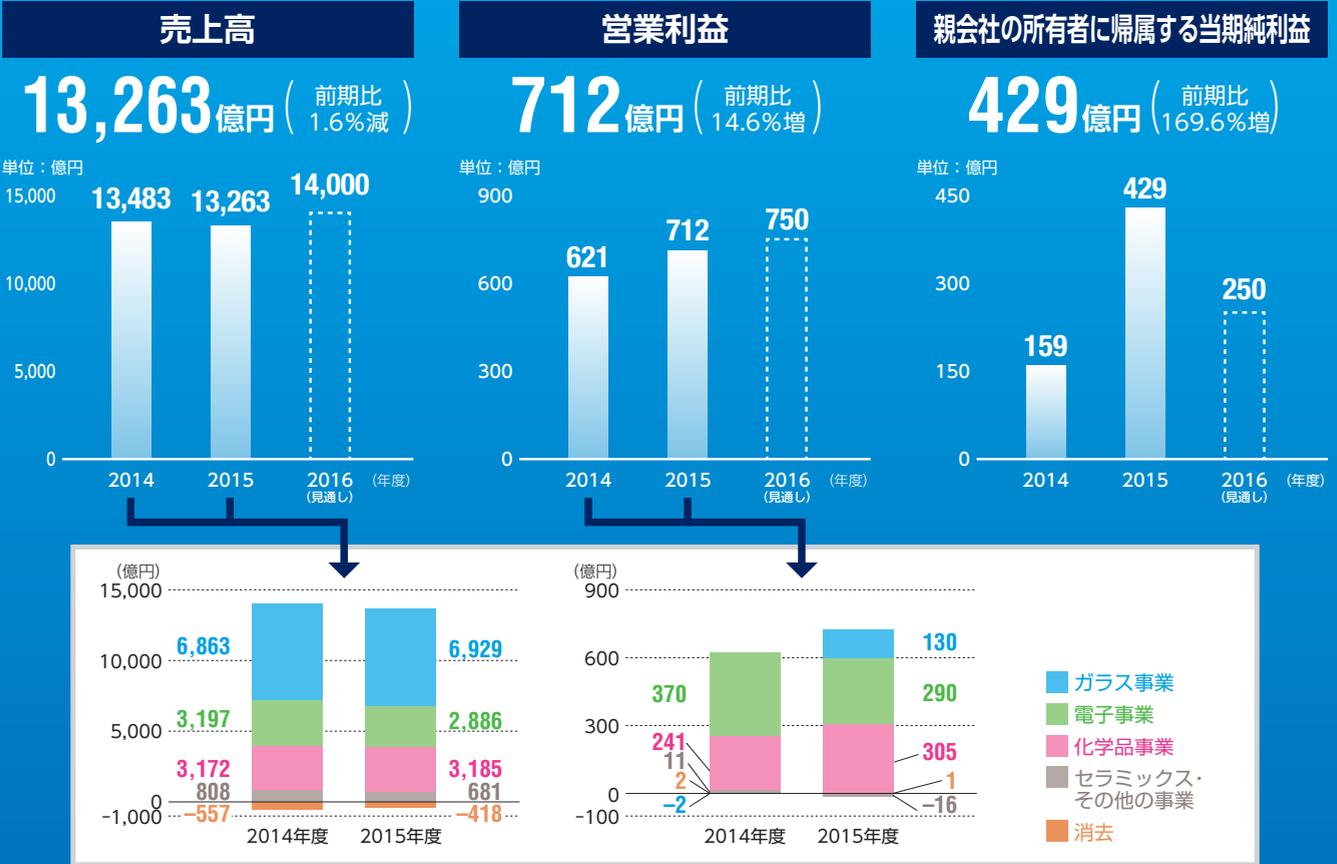
≫ 2025年までのマイルストーン



Q4 最後に株主還元についての考えをお聞かせください。

今般AGCグループ「2025年のありたい姿」を定めるにあたり、利益配分に関する基本方針を改定しました。利益の配分は、現在の1株当たり年間配当額以上の継続を基本に、自己株取得を含めた連結総還元性向50%以上を目安とします。連結業績や将来の投資計画等も総合的に勘案しながら、積極的に株主の皆さまへの還元に努めていきたいと考えております。株主の皆さまの一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

売上高	円安などの増収要因はあったものの、ディスプレイ事業の価格下落などの影響を受け減収
営業利益	事業構造改革の効果や原燃材料安の影響などにより増益
親会社の所有者に帰属する当期純利益	営業利益の増益に加え、退職後給付制度改定益を361億円計上したことにより増益



トピックス

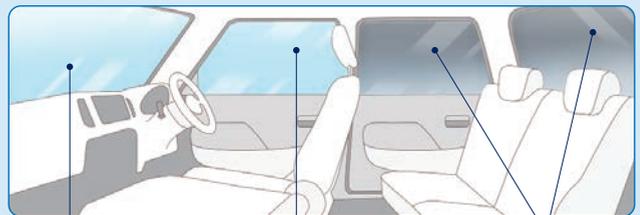
世界初！自動車の全周99%UVカットをガラスで実現！

AGCは2015年11月、自動車のリアドアガラス・リアガラスにおいて紫外線 (UV) を約99%カット^{※1}しながら、赤外線 (IR) もカットする「UVベールPremium Privashield™ (プライバシーシールド)」の販売を開始しました。

既に発売しているフロントドアガラスの「UVベールPremium Cool on®」、フロントガラスの「ラミセーフ®」や「Coolベール™」を併せて使用することにより、世界で初めて^{※2}、自動車の全方位からのUV約99%カットを達成しました。AGCのガラスが、運転席・助手席だけでなく後部座席に座る方のお肌も守ります。

※1 弊社測定値。ISO9050基準。

※2 2015年11月現在、弊社調べ。フロントガラス以外の部位で単板ガラスを使用して世界初。



<p>フロントガラス</p> <p>Coolverre</p> <p>赤外線遮断型紫外線カットガラス</p> <p>中間膜を挟んだ合わせガラスの構造で約99%UVカット。さらに、中間膜にIR吸収剤を練り込むことにより高性能な熱線吸収機能を実現。</p>	<p>フロントドアガラス</p> <p>UVベールPremium Coolon</p> <p>従来のUVカットガラスに高性能UV&IR吸収剤をコートし、約99%UVカットと高性能な熱線吸収機能を実現。</p>	<p>リアドアガラス・リアガラス</p> <p>UVベールPremium Privashield</p> <p>従来のプライバシーガラスの成分を調整することにより、プライバシー性を保ちながらUVカット率を向上させ、約99%UVカットと高性能な熱線吸収機能を実現。</p>
---	---	--



担当者より

UV99%カットガラスシリーズは、駐車場での女性ドライバーインタビュー調査を基に生まれた商品です。今後も様々な消費者の声を聴いて、「こんな窓があったらうれしい！」と喜んでいただける商品を企画していきます。また、ドライバーの方にUVカットガラスの嬉しさをお伝えするための動画を作成しました。是非ご覧ください！ <http://www.agc.com/uvcut360/>





コーポレートガバナンス・コードが2015年6月から施行されていますが、AGCの対応状況を教えてください

AGCグループは、コーポレートガバナンス・コードの各原則について、全て遵守（コンプライ）しています。

当社では従来より、複数の社外取締役の起用や、取締役会の諮問機関として任意の指名委員会・報酬委員会の設置など、経営監視機能の強化に取り組んでいます。

また今般、コーポレートガバナンス・コードの趣旨を踏まえ、「AGCグループ コーポレートガバナンス基本方針」を制定しました。グループの持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を実現するため、AGCグループにおけるコーポレートガバナンスを強化し、さらに充実させていきます。基本方針の全文は当社WEBサイトに掲載していますのでご参照ください。



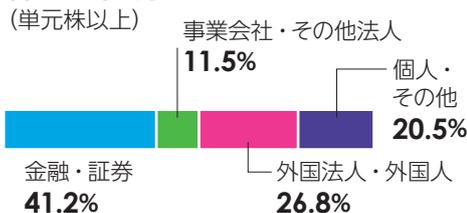
会社概要 (2015年12月31日現在)

名称
通称社名 AGC旭硝子
AGC ASAHI GLASS
登記社名 旭硝子株式会社
ASAHI GLASS CO., LTD.
創業 1907年9月8日
設立 1950年6月1日
資本金 90,873,373,264円
本社所在地 〒100-8405
東京都千代田区丸の内
一丁目5番1号
(新丸の内ビルディング)
電話 (03) 3218-5096
連結対象子会社数 204社 (うち海外166社)

株式の状況 (2015年12月31日現在)

発行済株式総数 …………… 1,186,705,905株
株主数 …………… 65,781名
(単元株以上株主 …………… 55,120名)

株主の状況 (2015年12月31日現在)



株式関連情報

事業年度
毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会開催月 3月
基準日 定時株主総会 12月31日
期末配当 12月31日
中間配当 6月30日

公告方法 電子公告

[公告掲載アドレス] <http://www.agc.com>

株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関
三菱UFJ信託銀行株式会社

[電話お問合せ・郵便物送付先]
〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 (0120) 232-711 (通話料無料)

配当金のお支払いについて

配当金は、支払開始の日から満5年を経過いたしますと、定款の定めにより、お支払いができなくなりますので、お早めにお受け取りください。
なお、未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

単元未満株式をご所有の株主様へ

株主様をご所有の当社単元未満株式 (1~999株) につきましては、当社に対し買取・買増をご請求することができます。お手続き用紙のご請求その他お手続きの詳細は、下記お問合せ先までご連絡ください。

株式に関するお問合せ先

証券会社等に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
<p>口座を開設されている証券会社等</p>	<p>三菱UFJ信託銀行株式会社 (特別口座管理機関) 電話 (0120) 232-711 (通話料無料)</p> <p>※特別口座に記録された株主様の住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式の買取、口座振替に必要な各用紙のご請求は、特別口座管理機関のフリーダイヤル (0120) 244-479 (24時間・自動音声対応) をご利用ください。</p>